

脇本雄太が不在で大混戦

第31回寛仁親王牌「世界選手権記念トーナメント」は、10月20日、23日の日程で今年は前橋競輪場に於いて開催される。18年、20年と当所で開催されたこの大会を制覇している脇本雄太の名前がないのは残念ながら、SS班9名をはじめとして全国各地から強豪が集結して大会を盛り上げる。暮れのグランプリ2022出場権争いもいよいよ終盤戦。凱歌をあげるのは果たして誰なのか？

今年はダービー、オールスターを含め10Vを達成している脇本雄太が不在。優勝候補は5指に余る大混戦だ。狙いは絞りにくいだが、本命には松浦悠士を推した。松浦は仕掛けどころを逃がさない抜群な競走



松浦悠士

センスと豊かなスピードを武器に、今年も高いレベルの成績を残している。ビッグレースでは昨年に続きサマーナイトを連覇、全日本選抜、ウィナーズカップ、オールスターはいずれも準V。G3は4Vを飾って、獲得賞金ランキングは第2位に付けている。盟友の清水裕友や連係実績が豊富な太田竜馬と中四国ラインを形成して勝機を見い出す。太田も今年は年頭から快調なペースで飛ばしている。全日本選抜、ウィナーズカップと続けて優勝した後はビッグ決勝には乗

れていないものの、準決にコマを進めているし、F1戦では6Vを挙げている。好機に仕掛けて快速を発揮ならSS班撃破の場面もある。

勢いある郡司浩平を重視する手もある。共同通信社杯を無傷の4連勝で制覇すると、続く10月熊本記念in久留米は①②①①着と連覇している。スピードの切れが際立っていて、昨年の全日本選抜以来となるG1優勝も十分に狙える状態だ。好発進を決めて首位に躍り出るか。最近の和田真久留

は郡司と連係が多い。9月青森記念の初日特選、準決はいずれも郡司を交わしてのワンツー、共同通信社杯の準決は郡司のまくりが続いて2着。ただ、共同通信社杯の決勝で落車しており、体調には一抹の不安が残る。

今年のG1は古性優作が全日本選抜、高松宮記念杯、そして脇本がダービー、オールスターを制覇して、すべて近畿勢が優勝をさらっている。古性は共同通信社杯の準決で落車し、以後は欠場しているため調子は判断できないが、有力な優勝候補のひとりであるのは間違いない。G1の4大会の準



古性優作

決をすべて1着でクリアして、とにかく勝負強い。初日の動きには注目しておきたい。

昨年のチャンピオン平原康多も共同通信社杯の決勝で落車（再入7着）している。8月富山記念①①②着、9月岐阜記念①①②着、共同通信社杯は3連勝で優等と力強い走りを披露していたので、落車の影響がないようなら大会連覇も大いにありそう。関東には吉田拓矢、眞杉匠ら頼りになる自力型もそろっている。北日本勢も戦力は整っ

ている。佐藤慎太郎、守澤太志の2名のSS班に新田祐大、成田和也、新山響平。自力型、追い込み型のどちらもそろっている。で、好連係を決めてレースを掌握できれば、北日本勢から優勝者が出て不思議ではない。

九州勢も忘れてはならない。荒井崇博、山田庸平はG1戦線で存在感を示している。今年の獲得賞金ランキングは荒井が第12位、山田は9位に付けている。山崎賢人は競技中心の日程のためここも世界選から帰国直後となるが、非凡なスピードを随所で披露している。



郡司浩平

主力メンバー

※2022年10月11日現在

選手名	登録地	期別	競走得点	直近4ヶ月 前期得点	今期得点
清水裕友	山口	防府市	27	113.55	113.61
松浦悠士	広島	広島市	31	118.19	118.85
古性優作	大阪	和泉市	31	118.85	118.85
郡司浩平	神奈川	横浜市	32	118.50	118.50
宿口陽一	埼玉	さいたま市	38	112.29	112.29
平原康多	茨城	つくば市	27	113.47	113.47
吉田拓矢	秋田	大仙市	37	116.79	116.79
守澤太志	福岡	太宰市	45	115.85	115.85
佐藤慎太郎	福岡	東田川	45	117.38	117.38

寛仁親王牌・世界選手権記念

出場予定選手

※2022年10月11日現在

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福岡	78期	115.85	S1	新田祐大	福岡	90期	115.08	S1	新山響平	青森	107期	111.56
SS	平原康多	埼玉	87期	118.16	S1	浅井康太	三重	90期	115.00	S1	隅田洋介	岡山	107期	112.00
SS	宿口陽一	埼玉	91期	112.29	S1	稲川翔	大阪	90期	110.11	S1	堀内俊介	神奈川	107期	100.63
SS	守澤太志	秋田	96期	116.79	S1	村田雅一	兵庫	90期	109.09	S1	取島雄吾	岡山	107期	108.25
SS	松浦悠士	広島	98期	118.19	S1	阿竹智史	徳島	90期	108.00	S1	小川真太郎	徳島	107期	106.57
SS	郡司浩平	神奈川	99期	118.50	S1	山中貴雄	高知	90期	102.96	S1	末木浩二	山梨	109期	109.55
SS	古性優作	大阪	100期	118.85	S1	小川勇介	福岡	90期	111.00	S1	竹内翼	広島	109期	102.11
SS	清水裕友	山口	105期	113.55	S1	小岩大介	大分	90期	107.80	S1	太田竜馬	徳島	109期	113.89
SS	吉田拓矢	茨城	107期	113.47	S1	永澤剛	青森	91期	110.52	S1	島川将貴	徳島	109期	107.43
S1	内藤宣彦	秋田	67期	108.28	S1	神山拓弥	栃木	91期	111.80	S1	皿屋豊	三重	111期	108.57
S1	香川雄介	香川	76期	109.29	S1	和田圭	宮城	92期	112.16	S1	小森貴大	福井	111期	105.63
S1	小倉竜二	徳島	77期	113.27	S1	鈴木裕	千葉	92期	112.22	S1	門田凌	愛媛	111期	104.73
S1	諸橋愛	新潟	79期	116.21	S1	山田久徳	京都	93期	110.45	S1	山崎賢人	長崎	111期	112.37
S1	中村浩士	千葉	79期	107.00	S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	107.20	S1	眞杉匠	栃木	113期	114.78
S1	三宅達也	岡山	79期	104.73	S1	片岡迪之	岡山	93期	104.93	S1	松井宏佑	神奈川	113期	108.88
S1	桑原大志	山口	80期	109.96	S1	岩本俊介	千葉	94期	114.20	S1	上田亮弥	熊本	113期	106.92
S1	荒井崇博	佐賀	82期	114.36	S1	山田庸平	佐賀	94期	114.92	S1	小原佑太	青森	115期	104.00
S1	佐々木雄一	福岡	83期	109.95	S1	小原太樹	神奈川	95期	110.70	S1	坂井洋	栃木	115期	111.36
S1	筒井敦史	岡山	85期	106.58	S1	坂口晃輔	三重	95期	112.73	S1	佐々木悠葵	群馬	115期	106.14
S1	高原仁志	徳島	85期	106.28	S1	雨谷一樹	栃木	96期	108.30	S1	菊池岳仁	長野	117期	109.40
S1	中川誠一郎	熊本	85期	110.20	S1	長島大介	栃木	96期	108.34	S1	寺崎浩平	福井	117期	120.40
S1	稲垣裕之	京都	86期	107.06	S1	松谷秀幸	神奈川	96期	109.82	S1	山口拳矢	岐阜	117期	110.95
S1	井上昌己	長崎	86期	109.85	S1	山下一輝	山口	96期	108.86	S1	町田太我	広島	117期	108.39
S1	和田健太郎	千葉	87期	111.30	S1	柿澤大貴	長野	97期	108.44	S1	石原颯	香川	117期	106.18
S1	松岡健介	兵庫	87期	100.90	S1	中本匠栄	熊本	97期	112.04	S1	松本秀之介	熊本	117期	107.29
S1	園田匠	福岡	87期	112.25	S1	原田研太郎	徳島	98期	105.56	S2	松岡貴久	熊本	90期	106.27
S1	佐藤友和	岩手	88期	108.24	S1	小松崎大地	福岡	99期	113.69	S2	山下渡	茨城	91期	98.88
S1	成田和也	福岡	88期	114.92	S1	和田真久留	神奈川	99期	115.30	S2	西村光太	三重	96期	103.17
S1	渡邊一成	福岡	88期	108.46	S1	竹内雄作	岐阜	99期	108.17	S2	田尾駿介	高知	111期	102.77
S1	南修二	大阪	88期	112.30	S1	神田紘輔	大阪	100期	106.56	S2	松本貴治	愛媛	111期	105.16
S1	柏野智典	岡山	88期	109.65	S1	吉澤純平	茨城	101期	112.33	S2	小林泰正	群馬	113期	107.06
S1	内藤秀久	神奈川	89期	111.78	S1	金子幸央	栃木	101期	104.58	S2	橋本優己	岐阜	117期	106.96
S1	松坂洋平	神奈川	89期	104.96	S1	三谷竜生	奈良	101期	112.03	S2	阿部将大	大分	117期	105.23
S1	橋本強	愛媛	89期	108.76	S1	山本伸一	奈良	101期	107.16	S2	吉田有希	茨城	119期	113.00
S1	山口泰生	岐阜	89期	106.96	S1	谷口遼平	三重	103期	107.04	S2	阿部将大	大分	117期	105.23
S1	田中誠	福岡	89期	106.48	S1	野原雅也	福井	103期	110.33	S2	吉田有希	茨城	119期	113.00
S1	山田英明	佐賀	89期	110.08	S1	渡邊雄太	静岡	105期	110.91					



記者の

イチ押し!

第31回
寛仁親王牌 編



小山 記者



皿屋 豊



新山響平

新山響平が新境地を開こうとしている。松阪記念の二次予選では前受けから南関勢を分断。そこから先行勝負にでた。「普段はしないことをして気合が入っていたし、収穫はあった」と、戦法の幅を増やすことは「競輪力をつける」ためだ。「タイトルを目指したい」と、G1の優勝という目標に向かって突き進んでいく姿を追ってみたい。

昨年は弥彦開催だったが準決を逃げ切りで突破、その後の競輪祭も決勝に進出してリズムをつかんだ。今年の活躍にも注目。

ホームバンクの松阪記念で決勝に進出した皿屋豊。「記念の決勝は2回目。前回はS班がいなかった。広島記念。S班がいる中で自力で（決勝を）勝ち取れたのは価値がある」と準決の競走は一つのレースだけではなく、今後につながるだろう。前前に攻めて強気な位置取りからのまくりは存在感抜群だった。

G1の舞台では今年出場した日本選手権、オールスターと、二次予選には勝ち上がっている。点数上位の選手が相手でも会心の一発を見舞うシーンもありそう。



竹内 記者



山田久徳



松坂洋平

7月の弥彦記念で落車に見舞われた松坂洋平は、左の鎖骨骨折の怪我を負った。8月のオールスターで復帰こそ果たしたが、その後は精彩を欠いて一息の成績が続いている。自身も感じているように、完調ではないだろうが、直近の松阪記念の二次予選では、兆しを見せる動きで勝ち上がった。

「怪我をした」鎖骨の方も良くなってきている。まだ（自分の動きが）いいってわけじゃないけど、前回（平塚）よりはやれている感じがある」

前橋は久しぶりも、前回の1昨年6月では3連勝の完全V。直近の2場所5勝の固め打ちで連続優勝と、バンクとの相性も抜群なら狙いたい。

山田久徳は5月のダービーでの失格が影響して、9月はあっせんがなかった。地元記念も棒に振った心中は推して知るべしだろう。その分をトレーニングに充てて、脚力アップを図った。

「8月の最後あたりは、脚が落ちていた。（9月は）しっかりと練習してきたんで、つくり直せたと思います」

1カ月以上ぶりとなった松阪記念で優勝。懸念されたレース動も問題なさそう。この1場所上積みをもってG1に臨めそう。



細川 記者



小松崎大地



小倉竜二

9月防府決勝、共同通信社杯の3日目と立て続けに落車のアクシデントに見舞われ、向日町記念初日のレース後に珍しく弱音を吐いた小倉竜二であったが2日目から一変。「落車のしんどさというより、筋肉を緩めすぎて失敗しましたね。脇本（雄太）君のアドバイスで腹圧を高めてポジションを出したら良くなりましたね」と衰えぬ闘志と探求心で進化し続けている。前橋は71周年記念を制している相性良いバンク。充実ぶり光る中四国地区の機動型を巧みにリードして存在感を放つ。

小松崎大地は前橋参戦が約2年ぶりとなるが、27、28回大会で決勝に勝ち上がっている寛仁親王牌は相性の良い大会。今年は高松宮記念杯で持ち前のパワーを誇示して決勝進出。さらなる高みを目指してセッティングを変えて挑んだ6月久留米記念、サマーナイトでは精彩を欠いたが、しっかりと軌道修正に成功してオールスター競輪で今年の2度目のG1優出。近況は番手回りも増えてきている中で、対応力もアップしている。自力と番手戦を駆使して今年も決勝の舞台を目指す。



権田 記者



吉田有希



橋本優己

初G1だった8月のオールスターでも気おくれすることなく勝ち星を挙げた橋本優己。

「G1は雰囲気が違うし、楽しみですね。ただ、そこが当たり前っていう感じに、なれるようにしないと。出るだけじゃ意味がないですから。勝ち上がっていかないと」

オールスターでは一次予選敗退だっただけに、まずは予選突破がシリーズの目標になろう。まだまだポテンシャルを持て余すシーンもあるが、仕掛けがピタリとハマれば大食いも十分に可能な爆発力は秘めている。

吉田有希も6月の高松宮記念杯がG1デビューだったが、3月のウィナーズカップからすでに5回のビッグを経験している。オールスターでは①③④③②着。一次予選の2走をともに先行策でクリアと、大舞台での走り会得しつつある。

「G1の舞台でもっとレース慣れをしないと。自分のやりたいレースができるようになってきたので、1つ1つ課題を消していきたい」

上々の動きだった向日町記念から、ゆとりのローテーション。トレーニングを十分に積んで、地元地区の一番を迎える。